

応募方法 1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☞koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

婆もをなご胸開くるは医者さまといへど羞づかし 血圧あがる 菊地せつ子
みはらしの丘のネモフィラ青空へとけて朝の潮風に揺る 末吉アツ子
夜の雨に地潤され朝けよりトラクターの音里山に響く 阿部かつみ
介護疲れの兄が気晴らしするならん部屋から西廊劇見てる音する 齋藤 典子
カレンダームくりりて思う亡き夫の祥月五月何度目なるや 鎌田ねい子
数字には宇宙があると言ひし人逝きたりと聞く 平塚 美子
若葉の朝に 青空の青を透さんとわが部屋に時を忘れてガラス戸磨く 佐藤ひろ子
田居をゆく機械の音もリズムよくよそ様なれど 佐藤 啓子
豊作ねがう 三日間黄砂でくもりし蔵王嶺もけさは青空に残雪輝かす 齋藤 巖
ミサイル飛び黄砂飛びても花屋さんに見る花うつくし 鉢の花求む 大庭美智子

【評】一首目、本堂に血圧が上がるのだと仰る。ばっばの純情に、こつとさせられる。
二首目、清楚な草花たちを空と潮風でモデファイ、ご覧になられた作者のよろこびを伝えている。
三首目、ところは太鷹沢、大地と共にある農の朝明けを爽やかに描く。

俳壇

山家 弘子 選

宵祭息弾む声近づきぬ 山田 もも
初燕仕立下ろしの燕尾服 刃田 鉄也
ほのかなる風にゆれいる虞美人草 我妻 孝則
夕間暮れ鳴くや鎮守の時鳥 星 明
里の畑鼻歌聞こゆ茶摘み唄 菊地せつ子



▲真剣な表情で苗の植え付けをする園児たち

緑のカーテンで夏を涼しく 南保育園でゴーヤの苗植え

5月24日、南保育園で園児がゴーヤの苗植えを行いました。この取り組みは、園庭にゴーヤを植えて緑のカーテンを作り、夏場の保育室の気温上昇を抑えようと毎年実施。この日は、4～6歳の園児32人が参加し、40本のゴーヤの苗を植えました。成長したゴーヤは8月下旬に収穫し、給食などで味わう予定です。



▲ヘルスマイトのメンバーから笹の巻き方を教わる参加者

白石の伝統食を伝える 武家屋敷で「笹巻きの会」

6月11日、武家屋敷で「笹巻きの会」が開催されました。この催しは、白石市文化体育振興財団が笹巻きを次の世代に伝えようと、ヘルスマイト白石の協力を得て実施。4年ぶりの開催となったこの日は、市民など58人が来場し、笹やいぐさを巻く作業を体験したり、試食したもち米の食感を堪能したりしていました。



▲炊き出し訓練を行う白石市婦人防火クラブの皆さん

防災意識の向上を高める 白石市総合防災訓練

6月11日、震度6弱の地震が発生した想定のもと、市内の指定避難所などで白石市総合防災訓練を実施しました。今回の訓練では、安否確認訓練や避難所開設・運営訓練、白石市消防団による遠距離送水訓練などを行いました。本市では、今後もこうした訓練を通じ、災害に強いまちづくりを推進していきます。



▲花壇に色とりどりの花を植える参加者

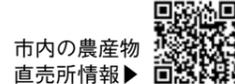
花を通じてコミュニティづくり 上郡山地区で花の植栽活動

5月27日、上郡山地区の国道113号沿いにある「ふれあい花壇」で地区住民による植栽活動が行われました。この日は、子どもから大人まで約80人が参加し、マリーゴールドやサルビアの苗約1,400株を植えました。参加者は「ここを通る人にもきれいな花を楽しんでほしいです」と話してくれました。

Shiroishi Market フレッシュマーケット

～まだ知らない地元農産物の魅力を届けたい！～

担当者がオススメする地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～



▲地区名から名付けられた「わんこの家」



▲天ぶらは、季節の野菜を楽しめます

羽山産直市場「わんこの家」

「わんこの家」は、白川地区の国道113号沿いに位置し、市内外からのお客さんで賑わっています。併設する食堂では、地元の朝採り野菜料理を食べることができますので、ぜひお越しください！

- 営業時間 【直売所】 毎週土・日 10:00～15:00
【食堂】 毎週土・日 11:00～14:00
- 住所 白川犬卒都婆字岩ノ上32-2
☎090-7794-8640